

第24回 少年消防クラブ員研修会



第24回少年消防クラブ員研修会を、財団法人日本防火協会及び社団法人島根県消防設備協会の共催により、7月28日（木）に開催しました。

今回の研修には管内34クラブ、118名の参加者がありました。

研修では、災害の恐ろしさ、命の大切さ、消防車両や消防業務の内容を詳しく学習し、クラブ員同士や職員との交流を図る事で、防火・

防災の意識付けができました。今回の研修に参加したクラブ員たちが、「消防士になる」という夢を抱き、いつの日か消防士として雲南消防に来てくれることを心待ちにしています。



地震体験

カレーライス作り

屋内消火栓放水体験

消火器訓練

通信指令室の見学

消防車両の見学

防災航空隊見学

空港消防隊見学



斐伊小学校 6年
藤原 一樹 くん

ぼくは4年生の時に初めて少年消防クラブの研修会に参加しました。最初は、心臓がバクバクだったのに終わるころになるとおさまっていて、友達もたくさんできていました。

今年の消防クラブでも友達がたくさんできました。煙体験は毎年コースが違うのでよい体験になりました。また、カレーは昨年よりおいしい気がしました。

消防クラブは今年が最後だったのでこし悲しい気もしたけど、この消防クラブで知り合った友達と中学校でいっしょになるのが楽しみだし、他の中学校の友達とたくさん交流したいです。



大東小学校 6年
坪倉 真奈美 さん

私は4年生の時からの消防クラブ研修に毎年参加して、とても勉強になりました。それは、火事になった時「火」よりも「煙」の方が怖くて、死ぬ人が多いことです。だから低い姿勢でハンカチなどで口を覆う大切さがわかりました。

そして、消火器の使い方は実際に訓練して分かったので、これからいつでも使えます。

また、すごいゆれの地震を体験させてもらい、机の下に頭を入れることが大切とわかりました。

3年間いろいろと勉強となりましたが、なにより他の小学校の友達がたくさんできるのが良かったと思います。友達といろんな体験ができてとても楽しかったです。

来年は、中学生だから参加できないけど兄弟にすすめたいと思います。

秋の全国火災予防運動



11月9日～11月15日

全国统一防火標語

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

この運動は、寒くなる時季を迎え暖房器具等を取り扱う機会が増えることから、火災の発生を防止するとともに、死傷事故や大切な財産の損失を防ぎ、高齢者を中心とする死者の発生を大幅に減少させることを目指すものです。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— 3つの習慣・4つの対策 —

- 3つの習慣**
 - 寝たばこは、絶対にしない。
 - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ガスこんろは、そばを離れるとき、必ず火を消す。
- 4つの対策**
 - 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
 - 寝具、衣類及びカーテンなどは、**防災物品**を使用する。
 - 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**を設置する。
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。



設置は義務です 住宅用火災警報器

あなたの住宅にも、火災警報器の取り付けが義務付けられています。



住宅用火災警報器設置状況（総務省消防庁発表 推計普及率）

	平成20年6月	平成21年3月	平成21年12月	平成22年6月	平成23年5月
全国	35.6%	45.9%	52.0%	58.4%	71.1%
島根県	10.0%	14.7%	27.6%	35.8%	65.5%
雲南消防本部	3.4%	11.6%	22.2%	35.1%	70.7%

雲南消防本部管内の設置率は最新の調査で70.7%です。全国平均(71.1%)を下回っているのが現状です。

- 家族が**寝室に使う部屋全て**に煙を感知する住警器を設置してください。
- 2階に寝室がある場合は、**階段室**にも必要です。

すでに平成23年5月31日に設置義務化となりました!!